

休日・夜間の診療体制、救急医療機関

年齢が若いほど、休日・夜間の診療体制および救急医療機関の情報を必要としていた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	0.926	0.775	1.107
70歳代 vs 20歳代	0.614	0.426	0.885
60歳代 vs 20歳代	0.660	0.471	0.924
50歳代 vs 20歳代	0.738	0.533	1.022
40歳代 vs 20歳代	0.825	0.588	1.158
30歳代 vs 20歳代	1.319	0.944	1.841

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
<.0001	0.6809

健康保険制度

男性の方が女性よりも健康保険制度の情報を必要としていた。また、年齢が若い方が健康保険制度の情報を必要としていた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	0.791	0.653	0.959
70歳代 vs 20歳代	0.499	0.336	0.741
60歳代 vs 20歳代	0.742	0.523	1.052
50歳代 vs 20歳代	0.567	0.401	0.802
40歳代 vs 20歳代	0.684	0.479	0.977
30歳代 vs 20歳代	0.807	0.569	1.143

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.0284	0.9935

薬の効能、副作用等

女性の方が男性よりも薬の効能、副作用等の情報を必要としていた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.378	1.129	1.682
70歳代 vs 20歳代	0.940	0.632	1.398
60歳代 vs 20歳代	0.742	0.509	1.082
50歳代 vs 20歳代	0.786	0.546	1.131
40歳代 vs 20歳代	1.038	0.716	1.505
30歳代 vs 20歳代	0.977	0.675	1.415

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.2998	0.8283

がんなどの専門医療機関

年齢が高い方が、がんなどの専門医療機関の情報を必要としていた。交互作用は有意であった。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	0.998	0.810	1.231
70歳代 vs 20歳代	2.160	1.288	3.624
60歳代 vs 20歳代	3.245	2.010	5.239
50歳代 vs 20歳代	3.891	2.436	6.216
40歳代 vs 20歳代	2.919	1.795	4.745
30歳代 vs 20歳代	1.370	0.819	2.292

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.0258	0.0887

病院の性格の違い

年齢が高いほど、病院の性格の違いに関する情報を必要としていた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.042	0.784	1.385
70歳代 vs 20歳代	7.563	3.165	18.076
60歳代 vs 20歳代	7.186	3.056	16.900
50歳代 vs 20歳代	4.796	2.027	11.348
40歳代 vs 20歳代	2.997	1.217	7.381
30歳代 vs 20歳代	2.605	1.051	6.455

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
<.0001	0.2207

健康づくり

年齢が高いほど、健康づくりの情報を必要としていた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.030	0.770	1.377
70歳代 vs 20歳代	1.437	0.799	2.583
60歳代 vs 20歳代	1.362	0.782	2.373
50歳代 vs 20歳代	1.404	0.818	2.410
40歳代 vs 20歳代	1.011	0.563	1.817
30歳代 vs 20歳代	0.576	0.302	1.096

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.0009	0.4612

苦情等の相談窓口

男性の方が女性よりも苦情等の相談窓口の情報を必要としていた。また、50歳代の方が、20歳代よりも苦情等の相談窓口の情報を必要としていた。交互作用は有意であった。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	0.563	0.413	0.766
70歳代 vs 20歳代	1.210	0.595	2.460
60歳代 vs 20歳代	1.632	0.862	3.090
50歳代 vs 20歳代	1.895	1.023	3.511
40歳代 vs 20歳代	1.649	0.867	3.139
30歳代 vs 20歳代	1.276	0.662	2.460

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.8582	0.0124

在宅ケアサービス

年齢が高い方が、在宅ケアサービスの情報を必要としていた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.149	0.836	1.578
70歳代 vs 20歳代	6.831	2.632	17.730
60歳代 vs 20歳代	5.727	2.235	14.671
50歳代 vs 20歳代	5.935	2.337	15.072
40歳代 vs 20歳代	3.056	1.144	8.162
30歳代 vs 20歳代	1.342	0.460	3.916

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
<.0001	0.2345

応急手当

20 歳代の方が、50 歳代および 60 歳代よりも応急手当の情報を必要としていた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.034	0.737	1.450
70 歳代 vs 20 歳代	0.702	0.370	1.334
60 歳代 vs 20 歳代	0.534	0.286	0.995
50 歳代 vs 20 歳代	0.453	0.243	0.843
40 歳代 vs 20 歳代	0.787	0.438	1.414
30 歳代 vs 20 歳代	0.947	0.540	1.663

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.1384	0.9012

こころの健康

女性の方が男性よりもこころの健康に関する情報を必要としていた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.707	1.178	2.474
70 歳代 vs 20 歳代	0.585	0.280	1.224
60 歳代 vs 20 歳代	0.640	0.331	1.240
50 歳代 vs 20 歳代	0.751	0.403	1.397
40 歳代 vs 20 歳代	0.775	0.405	1.482
30 歳代 vs 20 歳代	0.937	0.502	1.748

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.1400	0.4851

退院後のリハビリテーション

年齢が高い方が、退院後のリハビリテーションの情報を必要としていた。交互作用は有意であった。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.168	0.741	1.841
70歳代 vs 20歳代	10.467	2.440	44.906
60歳代 vs 20歳代	3.926	0.878	17.560
50歳代 vs 20歳代	5.510	1.280	23.716
40歳代 vs 20歳代	3.242	0.703	14.937
30歳代 vs 20歳代	3.088	0.670	14.234

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.003	0.0214

3. 医療等の知識を得る機会として充実してほしいこと(男女別・年齢階層別)

次に、医療等の知識を得る機会として充実してほしいことの違いを、男女間および年齢間で解析した。

マスコミ

男性の方が女性よりもマスコミによる情報提供を充実してほしいと希望していた。また、20歳代の方が、60歳代および70歳代よりも、マスコミによる情報提供を充実してほしいと希望していた。交互作用は有意であった。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	0.747	0.627	0.890
70歳代 vs 20歳代	0.634	0.442	0.910
60歳代 vs 20歳代	0.707	0.507	0.987
50歳代 vs 20歳代	0.975	0.705	1.347
40歳代 vs 20歳代	0.719	0.513	1.008
30歳代 vs 20歳代	0.789	0.565	1.103

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.2054	0.0981

保険関係の通知等

30歳代から60歳代までの方が、20歳代よりも保険関係の通知等を充実してほしいと希望していた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	0.997	0.824	1.206
70歳代 vs 20歳代	1.439	0.941	2.203
60歳代 vs 20歳代	1.756	1.185	2.602
50歳代 vs 20歳代	2.159	1.475	3.160
40歳代 vs 20歳代	1.933	1.301	2.871
30歳代 vs 20歳代	1.672	1.125	2.485

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.3134	0.7230

自治体の広報誌・インターネット

40歳代から50歳代までの方が、20歳代よりも自治体の広報誌・インターネットを充実させて欲しいと希望していた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.102	0.906	1.340
70歳代 vs 20歳代	1.315	0.874	1.980
60歳代 vs 20歳代	0.992	0.670	1.467
50歳代 vs 20歳代	1.454	1.004	2.107
40歳代 vs 20歳代	1.474	1.004	2.165
30歳代 vs 20歳代	1.149	0.779	1.694

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.753	0.3059

外来等のビデオ、パンフレット

女性の方が男性よりも、外来等のビデオ、パンフレットを充実させて欲しいと希望していた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.545	1.256	1.900
70歳代 vs 20歳代	1.051	0.696	1.588
60歳代 vs 20歳代	0.958	0.650	1.411
50歳代 vs 20歳代	0.889	0.608	1.299
40歳代 vs 20歳代	0.912	0.614	1.354
30歳代 vs 20歳代	1.059	0.719	1.560

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.936	0.5625

学校教育

年齢が若い方が、学校教育を充実させて欲しいと希望していた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.092	0.853	1.397
70 歳代 vs 20 歳代	0.226	0.131	0.389
60 歳代 vs 20 歳代	0.300	0.191	0.471
50 歳代 vs 20 歳代	0.468	0.314	0.697
40 歳代 vs 20 歳代	0.470	0.309	0.716
30 歳代 vs 20 歳代	0.704	0.476	1.042

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
<.0001	0.8174

健康診断の場を活用

60 歳代の方が 20 歳代よりも、健康診断の場の活用について充実させて欲しいと希望していた。交互作用は有意であった。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.214	0.935	1.575
70 歳代 vs 20 歳代	0.902	0.497	1.639
60 歳代 vs 20 歳代	1.769	1.064	2.943
50 歳代 vs 20 歳代	1.340	0.804	2.236
40 歳代 vs 20 歳代	1.248	0.731	2.132
30 歳代 vs 20 歳代	1.340	0.791	2.269

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.4321	0.0101

医師会・健康保険組合の学習会等

年齢が高い程、医師会・健康保険組合の学習会等を充実させて欲しいと希望していた。ただし、50歳代のオッズ比が逆転しているなど、その傾向は複雑であった。年齢と性別の交互作用は有意であった。

比較	点推定値	95%信頼限界	
女性 vs 男性	1.230	0.841	1.798
70歳代 vs 20歳代	1.173	0.561	2.451
60歳代 vs 20歳代	1.291	0.654	2.548
50歳代 vs 20歳代	0.888	0.441	1.789
40歳代 vs 20歳代	1.031	0.505	2.104
30歳代 vs 20歳代	0.547	0.245	1.223

年齢の線形傾向性	年齢と性別の交互作用
0.0331	0.0157

4. 日本の医療制度や健康保険制度の認知度(男女別・年齢階層別)

日本の医療制度や健康保険制度をどの程度認知しているかについて、性別および年齢間での違いを検討した。

まず、性別毎に年齢間の違いに関するクロス表を作成した。その結果、年齢が高い程、日本の医療制度や健康保険制度を認知している傾向性が認められた。例えば、20歳代の男性では、「知っている」という回答率が1.98%であるのに対して、70歳代では8.26%と4倍以上の違いが認められた。男性ほど顕著ではないものの、女性にもその傾向が認められ、男女の層を併合して解析する Mantel-Haenszel の相関性検定では、年齢は高度に有意であった。

男性

頻度 %	知っている	少しは知っている	あまり知らない	全く知らない	合計
20 歳代	2	15	43	41	101
	1.98	14.85	42.57	40.59	
30 歳代	11	51	110	35	207
	5.31	24.64	53.14	16.91	
40 歳代	8	59	83	26	176
	4.55	33.52	47.16	14.77	
50 歳代	17	64	106	33	220
	7.73	29.09	48.18	15.00	
60 歳代	13	55	88	27	183
	7.10	30.05	48.09	14.75	
70 歳代	10	41	54	16	121
	8.26	33.88	44.63	13.22	
合計	61	285	484	178	1008

女性

頻度 %	知っている	少しは 知っている	あまり 知らない	全く 知らない	合計
20 歳代	6	18	55	42	121
	4.96	14.88	45.45	34.71	
30 歳代	7	34	88	34	163
	4.29	20.86	53.99	20.86	
40 歳代	13	48	90	22	173
	7.51	27.75	52.02	12.72	
50 歳代	14	71	101	37	223
	6.28	31.84	45.29	16.59	
60 歳代	15	60	97	23	195
	7.69	30.77	49.74	11.79	
70 歳代	10	53	58	22	143
	6.99	37.06	40.56	15.38	
合計	65	284	489	180	1018

年齢間の違い

<.0001

次に、年齢毎に性別間の違いに関するクロス表を作成した。その結果、性別間の違いはそれ程大きくなく、また年齢毎に傾向が若干異なっていた。Mantel-Haenszel の相関性検定でも性別間に有意差は認められなかった。

20 歳代

頻度 %	知っている	少しは 知っている	あまり 知らない	全く 知らない	合計
男性	2	15	43	41	101
	1.98	14.85	42.57	40.59	
女性	6	18	55	42	121
	4.96	14.88	45.45	34.71	
合計	8	33	98	83	222

30 歳代

頻度 %	知っている	少しは 知っている	あまり 知らない	全く 知らない	合計
男性	11	51	110	35	207
	5.31	24.64	53.14	16.91	
女性	7	34	88	34	163
	4.29	20.86	53.99	20.86	
合計	18	85	198	69	370

40 歳代

頻度 %	知っている	少しは 知っている	あまり 知らない	全く 知らない	合計
男性	8	59	83	26	176
	4.55	33.52	47.16	14.77	
女性	13	48	90	22	173
	7.51	27.75	52.02	12.72	
合計	21	107	173	48	349

50 歳代

頻度 %	知っている	少しは 知っている	あまり 知らない	全く 知らない	合計
男性	17	64	106	33	220
	7.73	29.09	48.18	15.00	
女性	14	71	101	37	223
	6.28	31.84	45.29	16.59	
合計	31	135	207	70	443

60 歳代

頻度 %	知っている	少しは 知っている	あまり 知らない	全く 知らない	合計
男性	13	55	88	27	183
	7.10	30.05	48.09	14.75	
女性	15	60	97	23	195
	7.69	30.77	49.74	11.79	
合計	28	115	185	50	378

70 歳代

頻度 %	知っている	少しは 知っている	あまり 知らない	全く 知らない	合計
男性	10	41	54	16	121
	8.26	33.88	44.63	13.22	
女性	10	53	58	22	143
	6.99	37.06	40.56	15.38	
合計	20	94	112	38	264

性別間の違い

0.9462

5. 日本の医療制度や健康保険制度の認知度(ライフステージ別)

日本の医療制度や健康保険制度の認知度がライフステージ別にどのように異なるかについて検討した。下表より、ライフステージの成長とともに認知度は向上していることが分かり、Mantel-Haenszel の相関性検定でも有意差が認められた。例えば、「全く知らない」の回答率は学校教育期では半数近いが、家族形成期に至ると約 17%まで下がり、その傾向は家族熟成期まで継続する。また、老齢期になると、更に多くの人各制度を認知するという結果が得られた。

頻度 %	知っている	少しは 知っている	あまり 知らない	全く 知らない	合計
学校教育期	2	9	15	23	49
	4.08	18.37	30.61	46.94	
独身期	15	69	165	76	325
	4.62	21.23	50.77	23.38	
家族形成期	13	54	122	40	229
	5.68	23.58	53.28	17.47	
家族成長前期	8	46	103	33	190
	4.21	24.21	54.21	17.37	
家族成長後期	16	52	70	20	158
	10.13	32.91	44.30	12.66	
家族熟成期	22	98	179	63	362
	6.08	27.07	49.45	17.40	
老齢期	41	185	245	71	542
	7.56	34.13	45.20	13.10	
合計	117	513	899	326	1855

ライフステージ間の違 い
<.0001

6. 医療等の知識を得る機会として充実してほしいこと(ライフステージ別)

医療等の知識を得る機会として充実してほしいことをライフステージ別に検討した。

マスコミ

学校教育期の方が、家族成長前期および老齢期よりもマスコミを充実させて欲しいと希望していた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
老齢期 vs 学校教育期	0.485	0.267	0.883
家族熟成期 vs 学校教育期	0.548	0.298	1.010
家族成長後期 vs 学校教育期	0.544	0.283	1.046
家族成長前期 vs 学校教育期	0.462	0.243	0.878
家族形成期 vs 学校教育期	0.612	0.326	1.149
独身期 vs 学校教育期	0.734	0.397	1.357

線形傾向性
0.5282

保険関係の通知等

ライフステージが進行するほど、保険関係の通知等を充実させて欲しいと希望していた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
老齢期 vs 学校教育期	2.369	1.042	5.388
家族熟成期 vs 学校教育期	2.975	1.298	6.819
家族成長後期 vs 学校教育期	3.979	1.682	9.413
家族成長前期 vs 学校教育期	3.366	1.435	7.896
家族形成期 vs 学校教育期	2.625	1.124	6.129
独身期 vs 学校教育期	2.184	0.946	5.043

線形傾向性
0.0461

自治体の広報誌・インターネット

家族成長後期の方が、学校教育期よりも、自治体の広報誌・インターネットを充実させて欲しいと希望していた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
老齢期 vs 学校教育期	1.615	0.765	3.411
家族熟成期 vs 学校教育期	1.627	0.761	3.477
家族成長後期 vs 学校教育期	2.308	1.043	5.107
家族成長前期 vs 学校教育期	1.523	0.689	3.364
家族形成期 vs 学校教育期	1.944	0.895	4.224
独身期 vs 学校教育期	1.643	0.766	3.526

線形傾向性
0.1462

外来等のビデオ、パンフレット

特に傾向性は認められなかった。

比較	点推定値	95%信頼限界	
老齢期 vs 学校教育期	1.186	0.590	2.383
家族熟成期 vs 学校教育期	1.212	0.595	2.467
家族成長後期 vs 学校教育期	1.132	0.528	2.426
家族成長前期 vs 学校教育期	0.881	0.413	1.878
家族形成期 vs 学校教育期	1.112	0.533	2.320
独身期 vs 学校教育期	0.894	0.434	1.841

線形傾向性
0.5076

学校教育

学校教育期の方が、他のライフステージよりも、学校教育を充実させて欲しいと希望していた。

比較	点推定値	95%信頼限界	
老齢期 vs 学校教育期	0.137	0.072	0.261
家族熟成期 vs 学校教育期	0.232	0.122	0.442
家族成長後期 vs 学校教育期	0.235	0.113	0.485
家族成長前期 vs 学校教育期	0.418	0.216	0.812
家族形成期 vs 学校教育期	0.393	0.205	0.753
独身期 vs 学校教育期	0.288	0.152	0.546

線形傾向性
0.3426

健康診断の場を活用

特に傾向性は認められなかった。

比較	点推定値	95%信頼限界	
老齢期 vs 学校教育期	2.376	0.720	7.838
家族熟成期 vs 学校教育期	2.688	0.807	8.951
家族成長後期 vs 学校教育期	1.848	0.518	6.592
家族成長前期 vs 学校教育期	2.617	0.761	8.996
家族形成期 vs 学校教育期	1.786	0.516	6.184
独身期 vs 学校教育期	2.583	0.772	8.643

線形傾向性
0.2444

医師会・健康保険組合の学習会等

特に傾向性は認められなかった。

比較	点推定値	95%信頼限界	
老齡期 vs 学校教育期	1.616	0.377	6.930
家族熟成期 vs 学校教育期	1.894	0.436	8.224
家族成長後期 vs 学校教育期	2.107	0.459	9.678
家族成長前期 vs 学校教育期	0.889	0.179	4.421
家族形成期 vs 学校教育期	0.738	0.149	3.664
独身期 vs 学校教育期	0.976	0.213	4.462

線形傾向性
0.34

7. 日本の医療制度や健康保険制度の認知度(インターネットの利用状況別)

日本の医療制度や健康保険制度の認知度を、インターネットの利用状況別に検討した。Mantel-Haenszel の相関性検定の結果、インターネットの利用状況と認知度には有意な相関は認められなかった。

頻度 %	知っている	少しは 知っている	あまり 知らない	全く 知らない	合計
よく利用 している	39 6.28	188 30.27	291 46.86	103 16.59	621
ときどき利用 している	25 6.67	101 26.93	187 49.87	62 16.53	375
あまり利用 していない	11 6.75	45 27.61	80 49.08	27 16.56	163
利用していな い	51 5.94	233 27.12	410 47.73	165 19.21	859
合計	126	567	968	357	2018

利用状況間の違い
0.132